

製品名: ADAR2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06605**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	ADARB1
別名	ADARB1; ADAR2; DRADA2; RED1; Double-stranded RNA-specific editase 1; RNA-editing deaminase 1; RNA-editing enzyme 1; dsRNA adenosine deaminase
遺伝子 ID	104.0
SwissProt ID	P78563
免疫原	抗血清はヒト ADARB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 481-530

背景

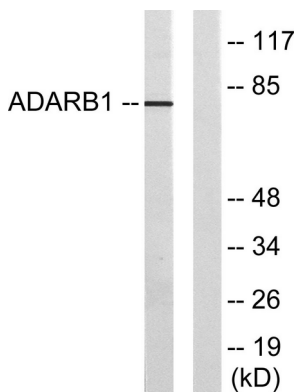
この遺伝子は、アデノシンの部位特異的脱アミノ化によるグルタミン酸受容体サブユニット B の pre-mRNA 編集を担う酵素をコード

しています。ラットを用いた研究では、この酵素が自身の pre-mRNA 分子に作用して AA ジヌクレオチドを AI ジヌクレオチドに変換し、新たなスプライス部位を形成することが明らかになっています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、いくつかの転写バリエーションが生じ、その一部は ALU カセット挿入の有無、および C 末端領域の長短によって特徴付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、代替産物:追加のアイソフォームが存在するようです、補因子:サブユニットあたり 1 つのイノシトールヘキサキスリン酸 (IP6) に結合します。、機能:グルタミン酸受容体 (GluR) サブユニットのメッセンジャー RNA を部位選択的なアデノシン脱アミノ化によって編集します。 GluR-B Q/R および R/G サイトの両方を効率的に編集しますが、ホットスポット 1 のアデノシンの変換効率にははるかに低くなります。、類似性: 1 つの A から I への編集酵素ドメインが含まれます。、類似性: 2 つの DRBM (二本鎖 RNA 結合) ドメインが含まれます。、

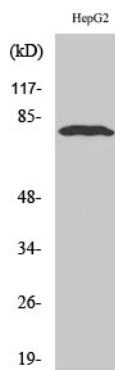
研究分野

-

画像データ



ADARB1 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



ADAR2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。